

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270301245		
法人名	有限会社ケア・ユニーク		
事業所名	リビング・ホームおおつか		
所在地 (電話番号)	〒031-0833 青森県八戸市大久保字大塚17-1055 (電話) 0178-32-3511		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 1月 28日	評価確定日	平成 21年 4月 20日

【情報提供票より】(平成21年1月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 12月 10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,500 ~ 冬期18,900 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(1月6日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	68 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	青森労災病院、八戸平和病院、たかのはし歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>八戸市郊外の林など自然が随所に残る場所に開設され2年が経過した。季節の飾りつけや行事の写真を掲示するなど、和みのある空間を作るよう取り組んでいる。また理念についてミーティングや会議で話すとともに職員の目につく所に掲示するなど、理念がより浸透するよう積極的に取り組んでいる。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>近所あまり民家が少なくなど、町内会との連携の強化について難しい面はあるが、地域へのより一層のアプローチなどが望まれる。また、職員研修の計画的な参加や地域を含めた避難訓練等の実施について、取り組まれていない現状があるため、今後の活動に期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を理解する為、自己評価を実施しており、また、職員間で会議やミーティング等を通じ話し合い、玄関周辺及びホール等の雰囲気づくりの改善等に取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>町内会や、近隣住民との交流や社会参加等について話し合われている。今後、行政との連携を強化し、町内会、近隣住民への積極的なアプローチを働きかけ、様々な協力体制が図られるよう今後の活動に期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族等に対し、毎月便りを郵送し利用者の状況、金銭管理状況など連絡がなされている。面会時等においても生活状況や健康面などの報告がなされている。また、運営推進会議等を活用して課題解決に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>民生委員や町内会等に対し働きかけを行っているが、住宅地とは離れた場所にあり、住民との交流がなかなか図られにくい現状にある。今後の活動に期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な生活ができるよう、個人の人格を尊重し、ご家族・医療機関との連携を行いながら、それぞれのできることを支援する理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時やミーティング・会議等において理念について話すと共に職員の目につく所に掲示し、意識向上に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	民生委員や町内会等に対し、グループホームについての理解や協力が得られるよう働きかけを行っているが、住宅地と離れた場所という地域性もあり、住民との交流がなかなか図られていない。		今後、より一層地域住民等にグループホームの取り組みなど理解してもらえるよう働きかけるとともに、老人会への参加などを通じて結び付きを強めていくような活動も期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解する為、全職員が自己評価を実施している。また、会議やミーティング等を通じ職員間で話し合い、玄関周辺及びホール等の雰囲気の改善等に取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。会議では、町内会との連携や外出支援などの課題について報告をし、サービス向上にむけ検討している。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも市の介護保険課担当者や町内会、民生委員等と相談や話し合いがなされており、また市の介護保険課担当者や民生委員等が来訪する機会もあり、課題に対する話し合いがもたれ、改善・サービスの向上に向けて取り組まれている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は権利擁護制度について理解しているが、現在、研修などで学ぶ機会が設けられていない。		今後、権利擁護について学ぶ機会を設け、制度に関する理解をより深め、活用できる体制づくりを期待したい。
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会へ参加し、参加後は職員間で共有している。虐待が見過ごされないよう留意している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時には、重要事項説明書を用いて丁寧に説明し、同意を得ている。また、利用料の他、医療機関等への受診費用や備品にかかる費用等についても詳細に説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族等に毎月便りを郵送し、利用者の状況、金銭管理状況など連絡している。また、面会時等においても生活状況や健康面などの報告がなされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等による面会時に相談や要望等を引き出せるよう雰囲気づくりに配慮がなされている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はほとんど行っていない。退職による職員の交代時は、利用者に説明している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者等は認知症、感染症対策など外部研修に参加し、職員育成に努められており、伝達研修などを開催し、職員全体で共有を図られている。		今後は、一般職員を含め計画的に内・外部研修等への参加を検討し、職員育成を図る事が望ましい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や実践者研修等を通じて交流を図ると共に、同法人事業所間で互いに見学や体験を実施することで取り組みを見つめ直し、質の向上につなげている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族や担当ケアマネージャー等と十分話し合い、これまでの生活歴や職歴、性格等の情報を職員間で共有し、早くなじめるようコミュニケーションを図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者とのコミュニケーションを大切にし、軽作業や家事など役割を持ってもらい、共に支えあえる関係づくりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人との関わりの中から希望を引き出し、職員間で情報を共有し利用者本位のケアとなるよう努めている。また、入居時や面談時に入居者の好みなど、ご家族から聞いている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式によるアセスメントを実施している。入居時、面会時そして日々の生活の中で、本人、ご家族等からの意見や要望等を取り入れ介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>アセスメント・モニタリングを3か月に一度実施し、スタッフ全員によるカンファレンスを行っている。また状況の変化等が生じた場合には、その都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		<p>作成時だけでなく見直し時にも、ご本人やご家族の意見を十分にとり入れることを期待したい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人やご家族等の要望など日常において状況が変化中、事業所としての役割を認識しており、多機能性を活用した支援となるよう検討されている。</p>		<p>キャラバンメイトなど、事業所としての多機能性を活かした取り組みを検討し、充実させて頂きたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に入居前からのかかりつけ医に継続して受診している。また、受診の際は、その都度ご家族へ報告している。		緊急時におけるかかりつけ医以外の受診体制についても検討し、ご家族・病院等との連携の充実を図る事が望ましい。
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合や終末期の対応等について同意を得ており、ご家族、主治医、職員間での情報の共有が図られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いやプライバシー保護について、ミーティングやその他の機会に話し合い、職員間で共有を図り、その重要性を認識している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的流れはあるものの、入居者の希望、ペース、状況等に配慮しつつ、希望に沿うよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの好みに合わせた味付けをメニューに取り入れている他、粥食・刻み食など個々の状況に応じた食事を提供している。また、利用者と共に食事の後片付けを行うなど、利用者の力を引き出すよう取り組んでいる。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状況を確認しながら、週2回の入浴を支援している。		入浴の時間や回数など、入居者の希望にそえるような体制を整えることが望まれる。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	軽作業など利用者が出来る事や役割を見つけ、一緒に行っている。また季節の行事やレクリエーションなどを取り入れ、楽しみごとの支援をしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	それぞれの利用者の状況に合わせて、個別に買い物に出かけるなど外出支援がなされている。		当日の外出希望にも対応できるような体制づくりについて検討することを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する研修等へ参加し、全職員で共有し、身体拘束を行わないケアを実践している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中、玄関やホール等には施錠しておらず、自由に入りが出来る。また、利用者が外出を希望した場合、付添をし見守りながら支援をしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>近所に民家が少ないという地域性もあるが、地域住民との関わりが少ない為、協力体制の確保が難しい現状がある。</p>		<p>運営推進会議等を通じて協力が得られるよう働きかけることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の摂取量などは日々記録し、摂取状況の把握に努めている。またお粥やとろみ食など利用者の状況にあわせた食事が提供されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルを作成、配置している。看護職員の協力のもと、感染症について学ぶ機会を持ち、予防や対応の意識づけを図っている。また手洗い、消毒等は毎日実施している。</p>		<p>入居者に対するインフルエンザ予防接種は実施されているが、職員に対しては任意である為、定期的実施する事が望ましい。また、インフルエンザ以外の感染症対策を実施する事が望ましい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関・ホール等に季節の飾り付けや、行事の写真を掲示するなど、なごやかな空間となるよう配慮している。またその日がわかるような日めくりカレンダーを掲示している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具や茶わん、湯呑などの小物を持ち込んでもらい、利用者にとっての居心地の良い空間づくりに配慮がなされている。</p>		

 は、重点項目。